

# 平成28年度決算に対する 各会派の意見表明・討論

平成28年度一般会計ほか、4特別会計決算を審査するため、今定例会初日に議長を除く全議員により、決算特別委員会（委員長 内田ひろのり、副委員長 島田拓）を設置し、14日間にわたり慎重かつ厳正な審査を行いました。

各会派から出された意見表明・討論の要旨は、次のとおりです。

## 事業見直しによる持続可能な財政運営を！

### 練馬区議会自由民主党（14人）

平成28年度練馬区一般会計歳入歳出決算ならびに、練馬区4特別会計の歳入歳出決算について、認定に賛成の立場から意見表明を行う。

平成28年度の普通会計の決算状況を財政指標から分析すると、公債費負担比率、実質収支比率の改善が図られたが、経常収支比率は4年ぶりに上昇した。経常収支比率の上昇は、待機児童対策等、区が他自治体に先駆けて、福祉施策の充実と真剣に取り組んだ結果とも言えるが、引き続き改善に向けた取り組みを期待する。

利潤を確保できる価格設定を。④区民福祉向上に向け区政改革計画の着実な実施を。⑤区政改革推進会議の活用を。⑥練馬城址公園は、地域の活性化や都市計画道路の整備等、複合的な整備を。⑦区役所東庁舎を建て替えの際は、隣接する練馬郵便局と一体整備の検討を。

【区民費・地域文化費・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療会計】①マイナンバーカードの申請相談強化を。②町会自治会の法的な位置づけの条例化を。③2020東京オリンピック・パラリンピックを成功させるための機運醸成を。併せて射撃会場までのアクセスルートの設定は西武池袋線や大江戸線の利用を。④国保税料納率向上と国民皆保険制度の公平性確保のため、短期証の発行を抑制し資格証の発行を。また差し押さえ強化により、不納欠損の減額を。⑤医療費適正化に向け、重複頻回受診者対策の体制強化を。

【産業経済費・環境費】①産業見本市の平日開催、複数日開催を。②経営革新等への支援を。③創業支援や起業家育成のコンサルタント人材の確保を。④都市農業振興を。⑤店舗改修事業の見直しを。⑥区のイベントは慎重に事業者選定を。⑦練馬区ゆかりのアニメの著作権の調整を。⑧東映アニメーションとの連携強化を。

【保健福祉費・介護保険会計】①地域共生社会の実現を。②光が丘病院の移転改築は旧光が丘七小、光が丘四中、秋の陽小の敷地を一体と捉えて検討を。③介護人材不足の支援を。④民生委員・児童委員や保護司・保護司会の活動の周知と支援を。⑤民生委員制度100周年に合わせ民生児童委員協議会と共催イベントを。⑥介護予防・自立支援策の充実の施設活用策検討を。

【都市整備費・土木費・公共駐車場会計】①まちづくり条例の条例改正を。②主要区道3号線の早期事業化を。③大江戸線延伸の機運の高揚と早期着工を。④西武新宿線連続立体化早期実現を。⑤新宿線沿線まちづくりの取り組み強化を。⑥江古田北部地区と北町地区の住宅密集事業は努力を。⑦貫井・富士見台地区の無電柱化を。⑧災害に強いまちづくりを。⑨上石神井の東京芸術大学跡地の公園整備はさまざまな要望の融合を。

【教育費】①国語・算数の授業数が減らないよう努力を。②道徳授業は感謝の気持ちを育むような教え方を。③区立小中学校の校舎建設は施設管理基本計画に基づき年に2校の改築を。④教職員の事務負担軽減・事故犯罪防止・会計の透明性確保のため学校徴収金管理システムの導入を。⑤区内学校のICT化モデル校実施後、全校に早急に拡充を。

【子ども家庭費】①児童虐待防止策の努力を。②障害児保育の充実を。③学童クラブの育の充実を。④保育の官民格差是正に向け、私立保育所に対する支援を。⑤私立保育所の事務作業急増に伴い、事務職員雇上費の補助増額を。⑥保育士確保対策の強化を。

## 区民参加と協働で築く住みやすい街練馬を！

### 練馬区議会公明党（12人）

平成28年度練馬区一般会計および4特別会計決算の認定に賛成の立場から意見表明を行う。

【議会費・総務費】①ねりまフリーWi-Fiの設置拡大を。②入札制度の見直しは区の実情に適した内容に。③避難拠点訓練時のHUG活用を。④女性防災リーダーの育成を。⑤区内中小企業の事業継続計画支援を。⑥災害対策車両の給油は弾力的運用を。⑦新しい特殊詐欺手口の情報提供を。⑧国の補助金で設置した防犯カメラを補助金制度対象に。⑨男女共同参画センターは働く女性に必要な情報提供を。

【区民費・地域文化費・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療会計】①マイナンバーカードでの児童手当申請の周知を。②ジェネリック医薬品への切り替え等で医療費の抑制を。③公共施設予約システムで短時間利用の周知を。④練馬つながるフェスタで参加者のマッチングの相談窓口の設置を。⑤向山庭園でライトアップ等開催を。⑥民間と連携した文化芸術の振興を。⑦区立美術館の再設計はサンライフ練馬も含め大規模改修を。⑧こぶしハーフマラソンの区民枠とエントリー数の増加を。

【産業経済費・環境費】①アニメコンペティションに支援を。②まちゼミへの支援の充実を。③インスタ映えするスポットの設置で誘客を。④区のブルーベリーのブランド化を。⑤貸借した生産緑地を区民農園として活用できる対応を。⑥駅前等の喫煙所は移設等の早急な対応を。⑦食品ロス削減の推進を。⑧使用済注射回収事業の補助金の増額を。⑨みんなのメダルプロジェクトの回収BOXの増設を。

【保健福祉費・介護保険会計】①タブレット端末による遠隔手話通訳システムの導入を。②人工内耳の体外装置の買い替え時に助成を。③父子家庭同士の交流の推進を。④胃内視鏡検査導入に必要な予算措置を。⑤前立腺がん検診の対象年齢を55歳に。⑥産後ケア事業の補助金増額を。⑦乳幼児健康診査の充実で病の早期発見を。⑧つじじい歯科診療所の生体モニターの新規更新を。⑨ダブルケアの相談窓口設置を。⑩脊柱側わん症検査の立位レントゲン更新の支援を。

【都市整備費・土木費・公共駐車場会計】①富士見台駅周辺まちづくり計画では千川通りへの道路の拡張等を。②武蔵関まちづくり協議会では駅前広場設置の検討を。③外環道青梅IC周辺の早期の用地買収を国や都に要望を。④保谷駅周辺地区で農の風景育成地区制度適用の検討を。⑤大泉学園町のまちづくり等の早急な策定を。⑥環境美化活動団体に違反広告物除却協力員の資格の付与を。⑦武蔵関公園の大規模改修を。⑧公園トイレの洋式化等の整備を。⑨水害の多い地域に75mm対応の下水道工事を都へ要望を。⑩区民交通傷害保険の周知と継続を。⑪区立自転車駐車場は短時間無料も含め時間ごとの料金に統一を。

【教育費】①ICT支援員の活用等で教員のスキルアップを。②スクール・サポート・スタッフの配置で教員の事務負担軽減を。③LINEを活用したいじめ相談体制を。④スクールソーシャルワーカーの増員を。⑤部活動指導員のモデル校指定を。⑥学校トイレの早期洋式化を。⑦体育館の空調設備推進を。⑧中学校ケア児の継続的なケアを。⑨病児・病後児保育施設の設定の拡大を。⑩体調不良時対応型の病児保育の実施を。⑪児童館等に中高生の自習室を。

【子ども家庭費】①保育士等の保育ソーシャルワーク研修の推進を。②おひさまびびびよを委託事業に。③保育士人材確保のため家賃補助の継続等を。④私立保育所の保育職員確保のため年度中の退職や休職に対し支援を。⑤保育ママの欠員対策費は欠員数に応じ、年間を通じた支援を。⑥障がい児のための保育園や放課後等デイサービスの誘致を。⑦NPO等が連携した医療的ケア児の継続的なケアを。⑧病児・病後児保育施設の設定の拡大を。⑨体調不良時対応型の病児保育の実施を。⑩児童館等に中高生の自習室を。

【議会費・総務費】公共工事の下請け事業者まで設計労務単価の適用を。【区民費・地域文化費】①光が丘区民センターの予約方法、駐車場の改善を。②債権回収に向けては、債権一元管理化を。③東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、機運醸成、出場予定の区内在住選手の把握、区内開催地となる射撃の会場周知を。④ジュニアジャズバンドの育成を。【産業経済費・環境費】①農地のさらなる多面的な活用を。②農福連携事業の推進を。③CO2排出量削減に向け、宅配ボックスの整備を。【保健福祉費・介護保険会計】①農福連携で障害者雇用向上を。②高齢者支え合いサポーター育成後は活躍の場の支援充実を。【都市整備費・土木費】①みどりバス南大泉ルートの保谷駅接

材確保のため家賃補助の継続等を。④私立保育所の保育職員確保のため年度中の退職や休職に対し支援を。⑤保育ママの欠員対策費は欠員数に応じ、年間を通じた支援を。⑥障がい児のための保育園や放課後等デイサービスの誘致を。⑦NPO等が連携した医療的ケア児の継続的なケアを。⑧病児・病後児保育施設の設定の拡大を。⑨体調不良時対応型の病児保育の実施を。⑩児童館等に中高生の自習室を。

## 未来にかかる経費を予測し、一層の努力を！

### 練馬区議会民進党・無所属クラブ（5人）

歳入歳出、実質収支比率状況ともに良しと認定。

【議会費・総務費】公共工事単価の適用を。【区民費・地域文化費】①光が丘区民センターの予約方法、駐車場の改善を。②債権回収に向けては、債権一元管理化を。③東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、機運醸成、出場予定の区内在住選手の把握、区内開催地となる射撃の会場周知を。④ジュニアジャズバンドの育成を。【産業経済費・環境費】①農地のさらなる多面的な活用を。②農福連携事業の推進を。③CO2排出量削減に向け、宅配ボックスの整備を。【保健福祉費・介護保険会計】①農福連携で障害者雇用向上を。②高齢者支え合いサポーター育成後は活躍の場の支援充実を。【都市整備費・土木費】①みどりバス南大泉ルートの保谷駅接

HUG（Hugoo=避難所）U（Unwell=運営）G（Gammagum）の略。住民が避難所運営を主体的に考えるためのツール。

平和首長会議自治体になさわしい平和推進を

日本共産党練馬区議団(5人)

練馬区一般会計、国民健康保険事業会計、介護保険会計、後期高齢者医療会計の4決算の認定に反対する。

反対理由の第一は、待機児ゼロへ対策の見直しが必要であり、深刻な消費不況のもと、あつせん融資やまちゼミ強化には背を向け、国民健康保険料の連続値上げや収納強化で追い打ちをかけていること。

第二は、光四中の閉校、病院移転先ありきの施設活用推進等住民合意なく進め、マイナンバー制度も区民サービス低下を引き起こしていること。



決算特別委員会

①核兵器禁止条約へ政府の批准求めよ。②ヒバクシャ国際署名に取り組み、平和推進事業の増額を。③感震ブレイカーの助成創設を。④災害協定の実効ある見直しと具体化を。⑤家具転倒防止対策事業の復活と対象拡大を。⑥国保は広域化で大幅値上げになる。国と都の財政補助求め、保険料引き下げよ。⑦後期高齢者医療の特別対策の継続求めよ。⑧ゼロ金利等あつせん融資改

区民と対等な立場で共につくる区政を！

生活者ネットワーク(3人)

⑨まちゼミの補助引き上げよ。⑩街路灯LED化と交換費補助を創設せよ。⑪生産緑地の継続へ支援強化を。⑫特養の待機解消めざせ。⑬介護保険は負担増や利用抑制やめよ。⑭介護・福祉人材の処遇改善の充実を。⑮相談支

援事業の改善強化を。⑯事業系ごみの資源化促進を。⑰戸建住宅の耐震助成充実を。⑱教員の長時間勤務の改善を。⑲全学年で35人以下学級の実現を。⑳就学前まで認可保育園の新増設で待機児解消を。㉑児童クラブを新増設せよ。

区民参画の働きかけは不十分。2016年度決算認定に反対。①LGBTの問題は人権問題。性自認および性的指向を理由とした差別を禁止する条例やパートナーシップ制度の制定を。②学校運営を男女平等と性的マイノリティの視点で見直し。③練馬城址公園整備は計画から区民と考える。④関越道高架下地域倉庫等の運営を区は把握せよ。⑤マイナンバーカードを持たない区民の権利を守れ。⑥「区民参加と協働のブランドデザイン」は区民参画を明示せよ。

⑦ワークライフバランス推進のため社会保険労務士出前相談の周知を。⑧子どもの権利条例制定し、意見表明権を尊重した子ども議会に。⑨区内児童相談所設置の検討を。⑩羽田空港機能強化は飛行ルート見直しを要請せよ。⑪雨水タンク的全額助成で浸水対策呼びかけよ。⑫石神井公園駅南口西地区再開発事業は区民から広く意見聞き、住民合意ないまま進めるな。⑬「高齢者相談センター」から「地域包括支援センター」の名称変更と業務内容の丁寧な周知を。

地域の声、当事者の思いを受け止めた区政を

市民の声ねりま(2人)

「緑」の保全など区政の基本が揺らいでいる。①国際交流多文化共生基本方針を見直し、事業計画策定を。②地域生活支援拠点は拠点型も整備を。③胃がん内視鏡検診の拡充を。④西武新宿線の連続立体交差事業は地下化も含め検討を。⑤白子川の調節池は必要性精査を。⑥3歳児1年保育は中止し、保育施設整備を。⑦直営保育園保育士の新規採

用を。⑧全学校に直接雇用の司書配置を。⑨認定こども園練馬こども園の負担見直しを。⑩特別緑地保全地区、郷土景観保全地区の活用を。⑪「みどり30」の堅持を。⑫住宅地での都市計画道路新設は中止を。⑬大泉学園町体育館改修は職員や利用者への配慮を。⑭精神障害者への福祉手当は2級も対象に。⑮精神障害者の地域生活を支える住宅手当を。

誰が安心して暮らせる地域を作るために、区民の権利擁護の観点から、区民の善意に依せず、区が果たすべき役割や責任を自覚して取り組む必要がある。①避難拠点と福祉避難所の連携について情報提供や支援に努めよ。②死亡届を出しに来た区民へのケアも含めた情報提供を。③自

維新だからできる「身を切る改革」

練馬区議会維新の会(1人)

平成28年度の各決算書を見るとおおむね良好で均衡のとれた予算執行が行われたものと思われる。

維新は「身を切る改革」を推進し、「税金をチェック」する立場からさらなる行財政改革を推進するため以下、意見要望を申し上げます。

①保育園は待機児ゼロに。②生活保護の不正受給に対し組織強化を。③緑被率は引き続き23区で第1位を。④ねりっこクラブの設置を急がれたい。⑤犬、猫の里親への譲渡会場に区の公共施設の会場提供を。⑥公共駐車場にEV(電気自動車)の高速充電器の設置を。

認定反対・財政調整交付金に頼る無力決算

オンブズマン練馬(1人)

平成28年度決算、一般会計、国民健康保険事業会計・介護保険会計・後期高齢者医療会計認定に反対。28年度決算は、例年どおり活力のない、都財政調整交付金に頼る内容。交付金額は23区で第3位の73億円。区産業育成など、財政収入増大が喫緊のテーマであるが、区が特色とする農業は財

政収入にほとんど寄与していない。一方、基準財政需要額は23区で第3位と多額であり、固定経費である人件費、庁舎管理費などを減らすためには、全面的な分析、再検討が必要。行政当局はあまりにも経済に関し無力であり、区産業を育成するなどの展望は望むべくもない。

安心して暮らせる地域社会の実現を

市民ふくしフォーラム(1人)

立分散型エネルギー社会をめざし区民が取り組みやすい新たな手法の開発を。④訪問型サービスA従事者研修受講者のスキルアップのしくみづくりを。⑤区民がユニバーサルデザインに取り組みための情報発信を。⑥学校給食費の公

報発信を。⑦中高生の相談を受けられる体制整備を。

平成28年度決算に対する各会派の態度

○賛成 ×反対

\*自民党の議員数は、議長を除いた人数

会派名	自民党	公明党	民進無所属	共産党	生活ネット	市民の声	維新	オンブズ	市民ふくし	結果
合計	14人	12人	5人	5人	3人	2人	1人	1人	1人	
一般会計	○	○	○	×	×	×	○	×	×	認定
国民健康保険事業	○	○	○	×	×	×	○	×	×	認定
介護保険	○	○	○	×	×	×	○	×	×	認定
後期高齢者医療	○	○	○	×	×	×	○	×	×	認定
公共駐車場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

議会 Q&A

Q 決算の認定とはどういうことですか？

A 予算が一般会計年度における収入、支出の見積もりであるのに対し、決算は、収入、支出の実績であり、結果です。決算の認定とは、予算がどのように使われて、どのような成果をあげたかを住民の立場に立って審議し、判定することです。これは、予算の議決権に対応する議会の大事な権限でもあります。議会が不認定としても法的にはその効力に影響はありません。ただし、地方自治法の規定により、区長は都知事に報告するとともに、住民に議会が認定しなかった旨を公表する必要があります。